

# 【見える】安全活動コンクール：ナッジを活用した「見える化」

過去災害を風化させないために、VR(複数人同時視聴)による災害体験を実施  
☆実際に災害が発生した設備・現場を360°カメラにて撮影し、VRコンテンツを作成

安全道場にて全従業員への安全教育を行っており、その中のコンテンツとして、「リアルに・身近に」をテーマに、VRによる危険体感教育を実施している。

＜リアルに＞ ※右写真

仮想現実の世界（VR）で危険を体験し、よりリアルな怖さを感じる

災害の怖さを「身をもって」学ぶ

「ケガをしたくない」という危険感受性を身につける

＜身近に＞ ※下写真

実際に過去に起きた重大災害事例を体験し、災害は身近に存在する事を感じる

自分の身を守るルールを改めて学ぶ

自分の職場にある類似リスクを感じ取ってもらう



【参考】VR体感機（災害疑似体験）



VR同時体感教育（VRスタート画面）



VR同時体感教育（過去災害：挟まれ）



VR同時体感風景（複数人による同時視聴）

**「危険を知り、怖さを知ることで、災害を発生させない意識を高める」**